

首里高体育祭

～スポーツは創造的な文化活動となる～

沖縄県立首里高等学校
校長 田 名 裕 治

スポーツは、人間の体を動かすという本源的な欲求に応えるとともに、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や、楽しさ、喜びを与えるなど、我々首里高生に創造的な文化活動としての一面を示唆してくれています。

心身の両面に影響を与える文化としてのスポーツは、健康の保持増進、体力の向上に資するとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や、とりわけ青少年にとっては、スポーツが人間形成に多大な影響を与えるなど、心身の両面にわたる健全な発達に不可欠なものとなっています。

また、スポーツには、人間の可能性の極限を追求するという側面があり、自らの能力と技術の限界に挑む活動であると同時に、その優れた成果は、多くの人々に夢と感動を与えるなど、人々のスポーツへの関心を高め、活力ある健全な社会の形成にも貢献するものといえます。

「テストは迷走 行事で燃焼 思い出永勝 オレらの友情 ここに愛（ア・イ）」

標語作成者の意気込みとデザイン制作の心意気が素晴らしい。全生徒と全職員が私と同じ気持ちだと推察しています。きっとクラスの団結、学年の結束、そして首里高としての融和・継承が創造されていくものと考えています。

私はこれまでの経験上の見地から、スポーツの持つ文化的側面を信じています。スポーツを通して、友情を育み、仲間を信頼し、共に汗を流す。このようなスポーツ的充足感は、やがて学校の文化的側面を支える要素となっていく、学校（首里高）文化へと昇華していきます。高校3年間は長いようで短い。この瞬間（体育祭）を全力で楽しむことは、現在及び将来に渡って、豊かな人間性を涵養し、創造力と感性を育む等、君達が君達らしく生きるための糧となるものである事を信じています。

テストでは迷走したかもしれないが、この体育祭は完全燃焼して欲しい。君達一人ひとりが創る思い出は永遠の価値を持つ。君達が育む友情は美しく咲き誇り、多くの愛で満たされると確信している。ちばりよ一首里高生！